



研美社の挑戦

～出版記念トークライブを開催！



研美社の「The CORNER」

の取締役常務
執行役員 山
田秀生氏と
nearby
(株)の代表取
締役 彼谷佳
彦氏による
「NFC」を活
用したサービ

2025年、研美社の八丁堀の東京オフィスは大きく進化しました。場所は同じですがスペースを2倍に拡張。数千万円の投資をして環境整備とリノベーションを行っています。背景には東京周辺での採用難もあり、給料を少々釣り上げた程度では優秀な若手人材が採用できないという事もありました。そうした結果採用にも成功し、既存スタッフも新たな環境でリフレッシュ。業績は更に向上しています。「The CORNER」はオフィスピルの1階にあり、カードを通じて地域や業界の様々な人が交流できるフリースペースとして早速様々なイベントが開催されています。

当日のパーティーは午後4時に開場。ビールや軽食でpage 2026の視察の疲れを癒した後、奥村印刷(株)の取締役常務執行役員 山田秀生氏とnearby(株)の代表取締役 彼谷佳彦氏による「NFC」を活用したサービ

このテクノロジーをもっと手軽に活用できないか、印刷業界に取り込めなにかという視点で熱い議論が交わされました。続いて、新ショールーム「The CORNER」の概要説明とともに、nearby(株)が取り扱うデジタル名刺「nearbycard」やICカードゲーム「アニマルピコタッチ」の商品紹介も実施されました。研美社の主要事業であるプラスチックカードも紙媒体と同様に縮小傾向にあり、その状況に甘んじることなく未来を見据えて社長先頭に会社全体で考動する、そのバイタリティこそがこの会社の強みであります。



「(株)研美社は2月18日、東京営業所(東京・八丁堀)のデジタルコンテンツショールーム「The CORNER」において、ブライター・レイター(代表・山下潤一郎氏)と共同で「Brighter Later Nite (BLN) ! page 2026スペシャル」と題したミニパーティーを開催しました。首都圏を中心に、page 2026開催期間中でもあり全国から多数の業界関係者が詰めかけました。

この最新動向と可能性」をテーマとしたセミナーが行われました。奥村印刷は東京の老舗、名門印刷会社で、研美社と同じく世の中をより便利にする新しいスマートメディアの研究開発に力を入れています。NFC (Near Field Communication)とは周波数を利用し10センチ程度の距離でデバイス同士をかざすだけで通信可能な国際標準規格の近距離無線通信技術の総称で、スマホやクレジットカードをはじめめに浸透しつつあります。

企画は大いに盛り上がり、閉会予定の20時を過ぎても宴たけなわ。会場の各所で業界の未来や先端技術を巡る話題に花が咲き、参加者同士の交流を深める有意義な時間となりました。東京出張の際は、是非八丁堀にお運びください。



出版記念トークライブの様子



懇親会にて。手前の3名の真ん中が彼谷代表取締役

「印刷屋の逆襲」

絶賛販売中！

購入はコチラ



変態の最終形に見る成功の軌跡



「ココロザシピッチ」と銘打ち、6人が新規事業を披露した。



催されました。現在議長を務めているのは大阪の(株)新星印刷の西岡天芳社長。この方は昨年OGSに加入された(有)ディーティーピーセンターの清水社長、白石封筒工業(株)の白石社長とともに大阪の若手印刷人のホープと言われている方で、謙虚かつ野心家の敏腕だと同っており、全日本印刷工業組合連合会で理事を務められています。当組合にもそのパワーを是非にとOGS理事一同ロククオンしているターゲットでもあります。議長としての最後のビッグイベントだったそうですが、全国から血気盛んな辣腕印刷人が集うさまには大いに刺激をうけることができました。

二年間の活動テーマは「変態」。ブレイクスルーして殻を打ち破り、新たな自分へ転生すること。その集大成として当日は「ココロザシピッチ」と銘打ち、6人の登壇者が具体的なアウトプットを披露しました。縛りは社会との共生の視点を蔑ろにしないこと。オリジナルのジュニア向けスポーツウェアを商品化したシル印刷会社、竹を中心とした地域資源とレーザーを活用した印刷技術とをうまく融合させ、グッズを開発した加工業者など。斬新な視点からアプローチされた印刷関連からの変態の最終形にはアイデアの具現化の大きなヒントを得ることができました。

去

る2月14日(土)、ちよつどバレンタインデーの日。東京秋葉原において全青協全国協議会が開

他団体の事業ではありませんが、全日本印刷工業組合連合会の青年部組織である全国青年印刷人協議会(以下全青協)の第39回全国協議会に参加し、暗いニュースが先行する印刷業界にも明るい曙光がさしていることを体感できましたのでレポートします。

(OGS 副理事長 (株)遊文舎 木原庸裕)

こ

の手の新規事業促進には成功の一定の法則があるように

に思います。一つは飛び石を打たない。一つは他人任せにせず自分で行う(ノウハウを吸収する)。慣れ親しんだ本業のノウハウを活かせる周辺事業にひとつずつ慎重に事業領域を広げてゆくこと。金だけ出して誰かに事業を任せたりせずに、まずは自分でやってみること。これらを外すと多くの場合

業界内の展示会シーズン。正月も終わり新年度を控え、心機一転仕事に取り組みエネルギーを心に注入する良い機会となるため、この季節の展示会恒例行事の一つです。メーカー様、ベンダー様ともフレッシュな形で情報交換でき、業界仲間の思わぬ新商材の出展も。今年も刺激的な見ることができましたのでOGS組合員に共有すべくレポートいたします。

(OGS 副理事長 (株)遊文舎 木原庸裕)

Print Doors 2026

1月28日(水)、29日(木)にポートメッセなごやにて開催されました。機材商社の(株)光文堂様主催の展示会になります。OGSを通じて光文堂様と取引もかない、私は昨年が続いて2度目の見学になります。名古屋駅からあおなみ線という工業地帯を縦断する電車で揺られ30分。広々とした展示会場です。

初日に行きましたが来場者数も一般の方含めとても多く活気溢れる様相です。当日は大阪府印刷工業組合の高本理事長が新規事業創出の講演をされました。出展社も100社近く、コラボ展も併設され、こちらも合わせて180社ほどの賑やかな展示会でした。

光文堂様の売りの一つは主に海外メーカーとコラボしたOEM製品群、KBDブランド。日本では認知度が今一つの優秀な海外製品を探求し、そこに付加価値をつけたものがKBDになります。当日もKBD製品の商品デモは多くの人が詰めかけました。特に厚物や段ボール系のソリューションには注力しているようで、市場が比較的堅調なジャンルとはいえ見学者はとてもしびアに実機を見ながら投資効果のシミュレーションをしているように見えました。ここで見られない商品も多数ありますので、来年は一度足を運ばれてはいかがでしょうか。



初日に行きましたが来場者数も一般の方含めとても多く活気溢れる様相です。当日は大阪府印刷工業組合の高本理事長が新規事業創出の講演をされました。出展社も100社近く、コラボ展も併設され、こちらも合わせて180社ほどの賑やかな展示会でした。



KBD 製品の一例 (手前)



広大な展示会場

MOTOYA COLLABORATION FAIR 2026

2月12日(木)、13日(金)に、梅田ツインタワーで開催されました。最終的な来場者は目標2,000人に対し1,900名、昨年より100名増加したそうです。こちらはメーカー様の出展もあるもののイベントタイトル通り、主役は印刷業者同士のコラボレーション促進ということで、仲間内の販路拡大を目指す印刷業者の出展に勢いがありました。大阪梅田という場所柄もあ



印刷工業組合連合会瀬田会長による基調講演

印刷業界の
パッション溢れる

全国青年印刷人全国協議会に参加して



失敗するように周囲を見て感じます。印刷業界は確かに縮小基調ですが、だからと言って儲け話に安易に飛びつくのは考え物です。その点、この日のプレゼンターは地に足付けて着実に取り組んでいるように感じられ、成功の軌跡が見えました。

特 別講演として㈱CCG HOLDINGSの北田会長が登壇されました。CCGホールディングスは印刷会社のホーナーやブランニングのシーレップを擁する大阪の印刷会社を代表するグループ企業です。あらためて過去20余年の成長の軌跡が定量的に示されましたが、現状グループ累計の年商は80億超と30倍近くに成長されています。今そしてこれからはVUCA（ブーカ）と象徴されています。現代の社会やビジネス環境が先行き不透明で将来の予測が難しい。過去の成功体験が通用しない、何があっても不思議ではない。そのような時代を私たちは生きています。

この日は北田会長から「社長と経営者の違いは何か」と聴衆に問われました。北田会長いわく、「VUCAの時代は経営者でない生き残り残れない。社長とは過去の成功体験にしがみつき、現状維持で満足している人たちのこと。経営者は未来を予測し、外部環境の変化に強かに適応しうる（変革力）を持っているひとのこと。変化を楽しみ、日々考動しよう」と若手経営者を叱咤激励されました。私たちが社長なのか経営者なのか、印刷業界で「経営者」は何人ほどいるのか。そういった自問自答を各人反芻していたようで、「問題がまだ顕在化せず、表面上うまくいっているが未来が見えない」とこのような余力のある時こそ、思い切って未来に舵を切る勇気が必要ではと感じました。

懇 親会は会場のアキバホール内のパーティールーム。この日の私は、OGS 副理事長というよりジャグラ全国大会実行委員長として、全日本印刷工業組合連合会瀬田会長や大阪府印刷工業組合の高本理事長ともゆつくり懇

談できました。ジャグラ大阪大会のPRも成功したと思います。懇親会だけでなく二次会にも100名近く参加し、全国の先進的印刷業界人と交流できました。OGSでも組合員が刺激を受けて元気になるような企画をもっと打ち出し活性化の道を創っていかないといけないと身を引き締めて帰路につきました。



懇親会の様子

行けば刺激が必ず注入される

新春展示会巡りの

ススメ

2月は印刷
会巡りは好
年明けを込

り、主に近畿地区の来場者が目立ち、顔見知りと多く出会い情報交換できました。コラボに特化した展示会で出展料も比較的安価なこともあり、まずは業界内で自社の商品サービスの認知度を高めたいという、展示会初心者にはうってつけのイベントのように思いました。

プレミアムインセンティブショーなど一般ユーザー向けの展示会では、商品の精度が高ければ年間数千円の大口顧客に出会うことも珍しいことではないようですが、出展料も100万円以上はするようですので、広告費と商品力を良く考慮する必要があります。その点まずはやってみようという方に門戸を開いている、とても有意義な展示会だとあらためて思いました。

夏には東京で開催予定です。出展を是非ご検討ください。

PARBENOVO

日本印刷技術協会（JAGAT）主催の恒例の展示会です。今年は2月18日（水）20日（金）の3日間開催されました。伝統的にブリプレス系ソリューションの展示が強いイメージがありましたが、近年はデジタル印刷含めなんでもありの雑多な展示会で観て楽しいですね。

富士フィルムグループは変わらず広いブースで、デジタル印刷機レポリアでの非製紙のソリューションをかなり打ち出していました。ラベル関係や布系での実例を展示し、用途の幅を訴求されていました。当社もレポリア1120を2台導入していますが、活用方法についてまだまだ研究の余地があることを再認識できました。

盟友、㈱研美社は変わらず積極的な展開で、NFC（Near Field Communication）の普及をミッションとして、様々な展示を行っていました。カード市場も縮小する中、このような次世代技術のシェアを全社一丸となり取りに行く、素晴らしい先見性と団結力です。

JaGraの印刷革新会ブースも活況で、他団体と比しても活動の内容は更に充実しています。今後が楽しみです。

行けば刺激が必ず注入される展示会巡り。次の機会にみなさまも是非ご体験ください。



ホリゾンブースで見られたロボットとの協働



来訪者が多かったJaGraブース。クラフトビールをいただいた。



業界人で賑わうコラボレーションゾーン



全日本

3月の活動予定

状況により中止・変更の可能性もあります

1	日
2	月
3	火
4	水
5	木
6	金
7	土
8	日
9	月
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土
15	日

**ジャグラ文化典
近畿・大阪大会**
2026年6月19日(金)～22日(月)
| 総会・文化典・記念式典・懇親会等は20日(土) |

「就業者数調査票」へのご協力をお願いします

3月16日(月)までに同封の用紙にご記入の上ご回答ください

16	月
17	火
18	水
19	木
20	金
21	土
22	日
23	月
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土
29	日
30	月
31	火

4月以降の予定

4月14日(火) OGS役員会 18時 JPビル8階会議室
18日(土) スペース21総会(高松)
20日(月) 近畿地協幹事会 16時 JPビル8階会議室
(リアル開催)
5月20日～22日 JP展 インテックス大阪
26日(火) OGS総会(ならびに役員会) JPビル
8階会議室
※今回は総会のみ開催予定です(懇親会無し)

役員会報告

日時：2026年2月17日(火) 18:00より
場所：JPビル8階会議室
出席者：小幡理事長、岡副理事長、木原副理事長、
佐藤専務理事、大家理事、田治理事、田中理事、
中田理事、宗次理事、山本理事
オブザーバー：平成会 宇野会長

報告事項 その他

【本部報告】

- ・ジャグラ作品展への出展のお願い(1社1点の協力要請)

【近畿地協】

- ・2月20日(金)京都府支部担当の幹事会・勉強会について
- ・地協総会の日程は次回(2月20日)に検討

【OGS】

- ・OGS総会については5月最終週の開催で再検討
- ・OGS役員改選について

【青年部】

スペース21

- ・2月20日(金)甲府でキャラバン企画
- ・4月18日(土)高松で総会開催

平成会

- ・立花製本さん見学会(1月22日(木)開催)報告
- ・4月12日(日)に3団体合同でファミリーフィッシング開催予定

【2026ジャグラ近畿・大阪大会】

- ・進捗状況報告

講師に鋭い質問をぶつける松下近畿地協会長



JaGra 近畿地方協議会開催

生成AIが創る未来に

想いを馳せて

去る2月20日(金)、京都の四条烏丸で近畿地協勉強会が開催されました。テーマは「行動経済学×ChatGPT 売れる仕組みはAIで創れる」です。端的に言うと、AIは教育できる、使えば使うほど賢くなり役に立つということです。

ChatGPTとは、質問者の質問の文章の続きを考えてくれるAIで、質問の精度によって回答が全く異なる。質問者の語彙力が問われるわけです。アナログですね!

勉強会ではAIの具体的な鍛え方をみなで体感し、その用途の広がりと今後の重要性を再認識しました。

その後はお楽しみの懇親会に。京都の隠れ家的な裏路地で楽しい宴は続きました。

(木原庸裕)



意軒軒高の懇親会